

|| 地域おこし協力隊 活動報告 ||

たかお新聞

4月号

2026.4.30

[制作]
 所 支 合 総 石 鬼
 地 域 お こ し
 協 力 隊



『鬼の巢・一周年記念音楽祭』

新鮮な野菜と音のぬくもり、そして人の優しさに包まれてはじまった、ほし農eNの宿「鬼の巢」。

開業から一周年の節目に、鬼石地域の内外から50名を超える人々が集い、やわらかな賑わいが生まれました。

ほし農eNとコラボレーションした、キムランカ食堂の野菜カレーを提供。大地の恵みを味わいながら、音が重なり、地産地消の中で人がつながっていく。

そこには、「農」と「音」が静かに溶け合う時間が流れていました。新たに灯ったドリンクコーナーには、笑顔と言葉が行き交い、はじめましても、久しぶりも、やがて同じ輪の中へ。

一年という時を経て、鬼の巢は、人がふと立ち寄り、また帰ってきたくなる場所へと育ちつつあります。風のように、土のように。

ここに集う人たちとともに、これからも。Don't Stop Believing

― 地域を信じ、つながりを紡ぐ拠点として、地域おこし活動を続けていきます。

ほし農eNクルー募集中!!



『一緒に種まきしませんか』
 空き家の取り組みをきっかけに、地域や所有者の皆さまと新たなつながりが生まれました。このご縁から、眠っていた休耕地を活用する「畑の復活プロジェクト」がスタートしています。

現在、鬼石では5か所に自然栽培用の畝を整え、いよいよ種まきの準備が整いました。

『土に触れる朝のひととき』
 一日のはじまりを、大自然に囲まれて一緒に過ごしてみませんか。
 毎週【火曜・水曜・木曜】の早朝、出勤前の約1時間、一緒に畑作業に取り組んでくれるクルーを募集しています。

― 編集後記 ―

『蔵採り 急がば学べ 人の道』

〔編集担当〕 星野 貴男